２０２６（Ｒ８）年度あかし共創プラットホーム市民提案助成金事業 採択事業一覧

別　紙

■ 通常枠（100万円）

	グループ名 / プロジェクト名	プロジェクトの概要
1	明石新浜軒先マルシェ実行委員会 明石新浜軒先マルシェ	大観小学校区のうち、南部（材木、日富美、大観、岬、港）エリア全域を「まち全体が商店街」と見立て、「食べる・買う・巡る」をキーワードに、買い物イベントを実施。空き家、自宅の軒先、駐車場を貸すという住民も募り、立ち寄れる場所を点在させながら、買い物したり見学したりしながらまちあるきできる仕組みを構築する。また、空き家問題について考える社会実証目的を持つため、空き家相談のブースも設けるなど、地域課題解決に向けた継続的な取り組みにつなげる。
2	明石デザインラボ 明石デザインラボ	地域の事業者がデザインを学んだり、クリエイター同士が繋がったりすることで発信力を持てるよう、地域でデザインを活用しているゲストを招き、事例・知見を発信するイベントを定期開催したり、地域の事業者が気軽にデザインの悩みを相談できる窓口を設置する。また、CHANTO株式会社と連携し、明石のクリエイター育成・ネットワーク構築に取り組む。
3	明石名物名所カード製作実行委員会 名物名所カードで掘り起こす‼ 明石の宝☆ ～歴史や文化を知ることで郷土愛を深めよう～	明石のそれぞれの地域で大切に語り継がれてきた逸話、守られてきた寺社仏閣などの建造物、愛されてきた名物名産品、それらにスポットライトを当て「明石名物名所カード(仮称)」としてカード化する。そして、名物名所を訪れ、写真を撮影するなど、設定する基準のタスクを達成した方に、明石名物名所カードを配布することで、地域への誇りや愛着（シビックプライド）を育み、明石への郷土愛を醸成する。
4	株式会社柿野工務店 AIを活用した明石市内の企業と就労支援施設をつなぐ 「業務切り出し・マッチングプラットフォーム」構築事業	明石市内の中小企業は、慢性的な人手不足と業務過多に直面しており、清掃・資材整理・データ入力・書類整理といった非中核業務に人手を割く余裕がなく、生産性の低下を招いている一方で、明石市内約100件の就労支援施設は、安定した受注先を確保できず、兵庫県のB型事業所の平均工賃月額は20,664円にとどまっている。施設には「できる仕事」があるのに、企業との接点がなく、企業には「出したい仕事」があるのに、どう切り出せばいいか分からないという、「つながらない」状態を解消する。
5	くらしと流域ラボラトリー 豊かな海を育む水は、どこから流れてくるのだろう？	明石市民が慣れ親しんだ「海」で起きている貧栄養の問題を起点に、森・里・川・海のつながりによる自然循環（＝流域水循環）の仕組みを体感することで、一人ひとりも自然循環の一部であることを自覚し、暮らしのあり方、地域の捉え方が変わるきっかけとなるプログラム（①ツアー、②フィールドワーク、③講演、④ワークショップ）を開催する。
6	手話でコミュニケーションができる居場所 手話でコミュニケーションができる居場所プロジェクト	聴覚障がい者や高齢聴覚障がい者が共に食事を楽しんだり、運動やレクリエーションを行える居場所をつくる。
7	林っ子共創プロジェクトチーム 「林っ子×地元企業」未来共創プロジェクト ～学びと産業が循環する持続可能なまちづくり～	小学校の学習の時間において、地元企業による特別授業を実施したり、児童と共同で商品を開発することで、「生きた学習の場」を提供する。
8	めいまいアクティ部 あさぎりこども居場所整備事業	シャッター商店街となっている「バザール明舞」の空いたスペースを、こどもたち自身でDIYなどをしたり、こどもたち自身が自分たちの居場所のあり方について意見を出し合い、「もっとこどもたちが安心して」過ごせる場所に変えていく。
9	Woman Life＋ Lab 女性のウェルビーイングからはじまる 共創型ライフデザイン教育モデル構築事業	明石市内の小学校～大学、保護者・教育関係者、企業・団体を対象に、女性の心身の変化やライフステージに関する基礎知識を学ぶ教育プログラムや、女性のウェルビーイングをテーマにした研修等を、教育・医療・地域・企業がそれぞれの専門性を活かして連携しながら実施し、「体験」や「対話」を通じて共感を育み、制度や立場を超えて支え合う関係性の構築を目指す。

２０２６（Ｒ８）年度あかし共創プラットホーム市民提案助成金事業 採択事業一覧

■ チャレンジ枠（10万円）

	グループ名 / プロジェクト名	プロジェクトの概要
1	明石空家・相続活性化 プロジェクトチーム 明石空家・相続活性化プロジェクト	宅建業協会や司法書士会、税理士会など多岐にわたる専門団体が連携し、市民が気軽に相談できるワンストップの共創プラットフォームを構築するとともに、啓発セミナーや個別相談会を開催し、空き家に関する情報・知識を啓発し、空き家の適正管理・流通促進を支援する。
2	あかしみらい共育福祉ラボ 地域全体で未来の福祉を育む 「校内デイサービス」 明石モデル構築プロジェクト	福祉科を有する市立明石商業高校の地域交流スペースにて、「校内デイサービス事業」として、福祉科の生徒、福祉法人、デイサービス利用者との交流事業を実施する。 ①「校内デイサービス」による生徒と利用者との交流、②福祉法人職員から生徒に対する実技指導、③利用者から生徒に対するサプライズ企画の３つの事業を通して、次世代の福祉人材確保に向けて、地域住民と若者が日常的に交流できるプログラムを展開する。
3	あかし☆レモネードスタンドチャレンジ実行委員会 あかし☆レモネードスタンドチャレンジ	子どもたちが主体となり、レモネードスタンドの企画・準備・運営といったお店作りの一連の流れを体験し、自分たちで考え、動き、人と関わる中で、「やってみる力」や社会とのつながりを実感できる場をつくる。売り上げは小児がん支援団体へ寄付することで、社会貢献を身近に体験できる機会とする。
4	兵庫県立明石北高等学校 めいほく生が明石を元気にする ～地域との協働で進める高校生の学び～	探求の授業、科学探求部の活動、防災ジュニアリーダーの活動、小中学校等の連携事業等を通じて、小中高生が地域の中で共に学び、学びを地域に還元する仕組みをつくり、明石で育った若者が将来住むまちを選ぶときに「生まれ育った明石」を選ぶことを目指す。
5	マイトリテラス にししんまち　みんなのアートカフェ＋	西新町にある地域カフェを会場とし、障害のある福祉事業所利用者が制作した絵画やクラフト作品をカフェ内に展示するとともに、福祉事業所利用者自身が講師となった地域住民も参加できるワークショップを開催することで、障害のある人と地域住民が自然に交流できる機会を創出する。
6	やさしさ宅配便 やさしさGOMIin大久保	大久保エリアのまちのポイ捨てゴミを減らすため、ルールを設けスポーツとしてのゴミ拾いを実施する。競技者の意識の中でゴミ拾いがスポーツへと転換し、競技者が熱中することで、大久保のまちがきれいになる。
7	やはしんち つながる場とバリアフリーで育む 地域共生プロジェクト	チェアヨガ、手芸、ふらっと立ち寄れるオープンデーを毎月実施。身体を整える、手を動かす、人とつながるという三つを通じて、健康づくりと居場所づくりを一体で進める新しい地域共生モデルを生み出し、誰もが「来てもいい」「いてもいい」と思える場を育て、支え合いが循環する地域を目指す。